

Press Release

2018年10月18日

FAMOT 工場 グランドオープンのお知らせ 大規模なデジタル化投資により最先端の生産拠点へ

DMG MORI(以下、当社)は、ポーランド・プレシェフに位置し、欧州の最重要生産拠点のひとつである FAMOT 工場をグランドオープンいたしました。現地時間 10 月 8 日にオープニングセレモニーを執り行い、駐ポーランド特命全権大使 川田 司大使、ドイツ総領事館 Jana Orłowski(ヤナ・オーロースキー)代表代理ご列席のもと、当社取締役社長 森 雅彦、DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT Chairman of the Executive Board Christian Thönes(クリスチャン・トゥーネス)、FAMOT/Ulyanovsk 工場 工場長 Zbigniew Nadstawski(ズビグニュ・ナドスタフスキ)ら関係者によるテープカットを行いました。

1877 年に小さな農業機械メーカーとして創業した FAMOT 工場は、1999 年に DMG MORI グループの一員となりました。5 軸制御マシニングセンタ CMX シリーズやターニングセンタ CLX シリーズの製造拠点でありながら、工作機械用の大型鋳物部品などの主要部品を他の生産拠点に供給する欧州最重要拠点のひとつでもあります。

このたび約 80 億円に上る投資を行い、総面積を 20,000 m²から 50,000 m²へと拡張しました。そのうち製造・組立エリアは 21,000 m²を占め、5 軸加工機への需要増加に応えるべく、組立能力・加工能力の増強を行ないました。さらに、集中的なデジタル化投資により、計画・段取り・生産・モニタリング・保全情報のシステムによる一元管理を実現しています。具体的には、CAD / CAM による加工前のプログラミングや段取りに始まり、ERP と ISTOS^{*1}によるシームレスに連携された生産計画と実行、WERKBLIQ^{*2}による予知保全・メンテナンス管理などを実現しています。

Industry 4.0 と Connected Industries の実証工場として生まれ変わった FAMOT 工場は、今後も、最新のデジタルツインやエッジコンピューティング技術を積極的に取り入れ、最先端の部品加工工場として進化していきます。

^{*1}ISTOS は生産計画・実行のためのソフトウェア「ISTOS」を開発する当社グループ会社

^{*2}WERKBLIQ は予知保全・メンテナンスのためのソフトウェア「WERKBLIQ」を開発する当社グループ会社

<FAMOT 工場>

所在地	: Fabryczna 7, 63-300 Pleszew, ポーランド
建物面積	: 50,000 m ²
新設・拡張施設	: 組立工場、主軸工場、XXL 工場*、焼入れ工場、物流センタ、鋳物倉庫、事務所、倉庫
生産品目	: 5 軸制御マシニングセンタ CMX シリーズ、ターニングセンタ CLX シリーズ、自動化システム等

*XXL 工場ではフロンテン工場が開発・生産している大型 5 軸加工機の鋳物を加工。2019 年 3 月に完成予定。



テープカットの様子

(左から、DMG MORI Polska Sp. z o. o. Marek Osiński、Christian Thönes、
ドイツ総領事館 Jana Orłowski 代表代理、駐ポーランド特命全権大使 川田 司大使、
取締役社長 森 雅彦、FAMOT/Ulyanovsk 工場 CTO Zbigniew Nadstawski、
FAMOT/GRAZIANO/Ulyanovsk 工場 CSO Dr. Michael Budt)



デジタルファクトリーのモデル工場へと生まれ変わった FAMOT 工場